

麻しん（はしか）に注意！！



2024年2月以降、世界的に麻しんの発生が増加しています。今後国内における感染事例が増加することが懸念されます。

| | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 全国 | 165 | 186 | 279 | 744 | 10 | 6 | 6 | 28 | 31 ※1 |
| 神戸市 | 1 | 0 | 0 | 41 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |

※1 2024年10月24日時点(国立感染症研究所速報)
下段の1例(神戸市)は含まず

2020年以降患者発生数は低値を維持していましたが、2023年以降は増加しており、今後も注意が必要です。

麻しん（はしか）とは？

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。

○症状

- ①はじめの2～4日は、38℃前後の熱が続き、咳、鼻水、結膜（目）の充血などの症状（カタル症状）が次第に増強してきます。
- ②その後、すこし解熱し、再度高熱が出ると同時に全身に発疹が出ます。発疹は耳の後ろから顔、体幹、手足へと広がり、高熱は4～5日続きます。

○特徴

感染力が非常に強い。
免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。

○感染経路

空気感染、飛沫感染、接触感染

○感染してから症状が出るまでの期間

約10日～12日（最大21日間）

※麻しんワクチン接種歴がある人は、潜伏期間が長くなることや、上記のような典型的な症状がみられないことがあります

神戸市ホームページにより詳細な内容を掲載しています。

右の二次元コードもしくは、神戸市ホームページで「麻しん 風しん」で検索をお願いします



予防するためには？

麻しんは感染力が強く、空気感染するため、手洗い・マスクのみでは予防できません。ワクチン接種が最も有効な予防法です。定期接種の対象者で、接種を受けていない方はできるだけ早く接種しましょう。また、定期接種以外の方で、過去に予防接種を受けていない方や接種歴が1回しか受けていない方は任意接種として接種を受けられます。その場合、費用は全額自己負担です。

- 定期接種（接種費用は無料：神戸市全額助成）
 - 【1期】1歳の誕生日前日から2歳の誕生日前日
 - 【2期】小学校就学前の1年間（年長児）

※定期接種の接種方法については市ホームページをご確認ください。
※新型コロナウイルス感染症に関連する「特別の事情」がある場合は、定期接種間を過ぎても定期接種として接種が受けられる場合があります。詳しくは市ホームページをご確認ください。

■任意接種

接種できる医療機関についてはかかりつけ医にご相談ください。市ホームページに掲載していますMRワクチンの実施医療機関は、定期接種の取り扱い医療機関です。定期接種医以外の方の接種が可能かどうかは医療機関に直接お問い合わせください。



麻しんのような症状がある時の受診の注意点

○母子健康手帳でワクチン接種歴を確認してください

- ・感染力が非常に強いため、**事前に医療機関に電話のうえ**、すみやかに受診してください。
- ・受診の際には、可能な限り他者と接触しないように、公共の交通機関などの使用は避けてください。

※麻しんと診断された場合

- ・感染症法に基づいて、医師から医療機関の最寄りの保健所へ届出があります。
- ・届出を受けてお住まいの区保健センターから病状や発症前後の行動などについて聞き取るために、連絡をしますので協力をお願いします。

